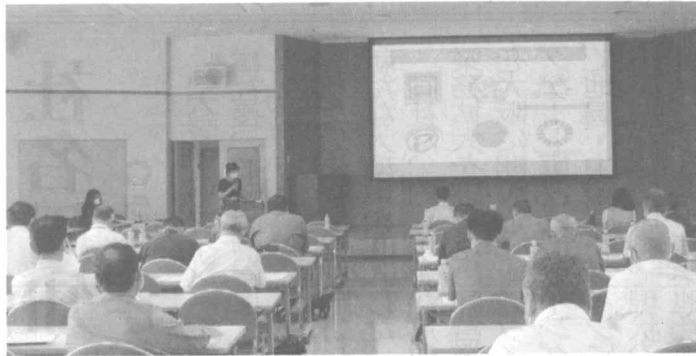


ヘルスケアの重要性学ぶ

富ト協 健康テーマにセミナー開く



【富山】富ト協(綿貫勝介会長、トナミ運輸)は8月26日、富山市内でセミナーを開催。十分なコロナ対策が行われるなか、84人が出席した。冒頭、あいさつを述べた県協の林伸治専務理事は「コロナ作業環境にも十分配慮しながら、予防に心がけていただきたい」と注意喚起。また、事業用運送トラックにおける健康起因事故の増加や脳・心臓疾患による過労死のリスクを指し、

「長時間労働の削減に向けた働き方改革を進めるとともに、ドライバーの健康管理への取り組みが重要」との見解を述べ、健康をテーマとしたこの日のセミナーに期待を寄せた。

「定期健康診断の有効活用と睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策」と銘打たれたセミナーは、「定期健康診断のフォローアップ」「健康経営」「SAS対策」といった各テーマで進行。参加者らはその内容に耳を傾け、コロナによる感染症拡大で再注目されているヘルスケアの重要性と心得を学んだ。

(朝妻聖一)